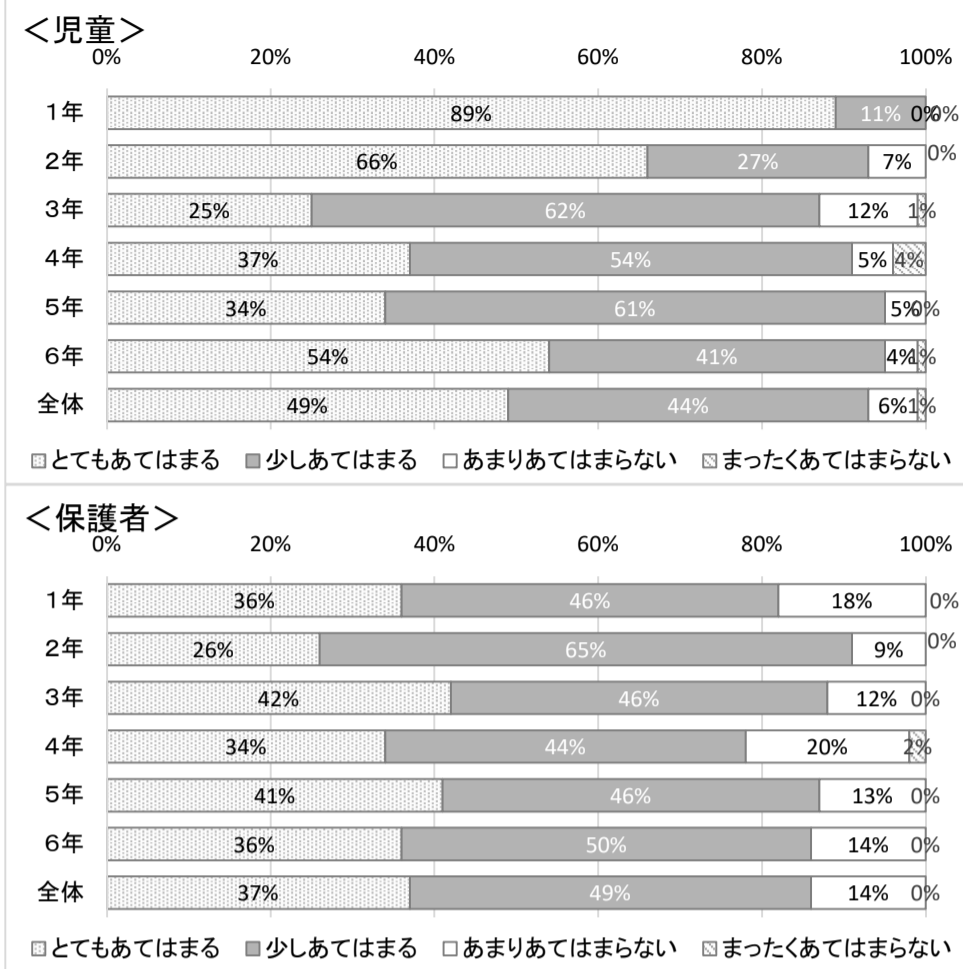


R5年度 アクションプランアンケート 結果

— AP1 —

1 うなずいたり、目をつないだりして話(はなし)を最後(さいご)までし。



○成果

・全校で作文タイムに取り組むことができた。

●課題

・「条件に沿って、自分の思いや考えを書くことができた」と答えた子供は94%と高かったが、国語科「学習のたしかめ」の「書く」問題で満点をとる子供が全校で50%程度にとどまった。

☆改善点

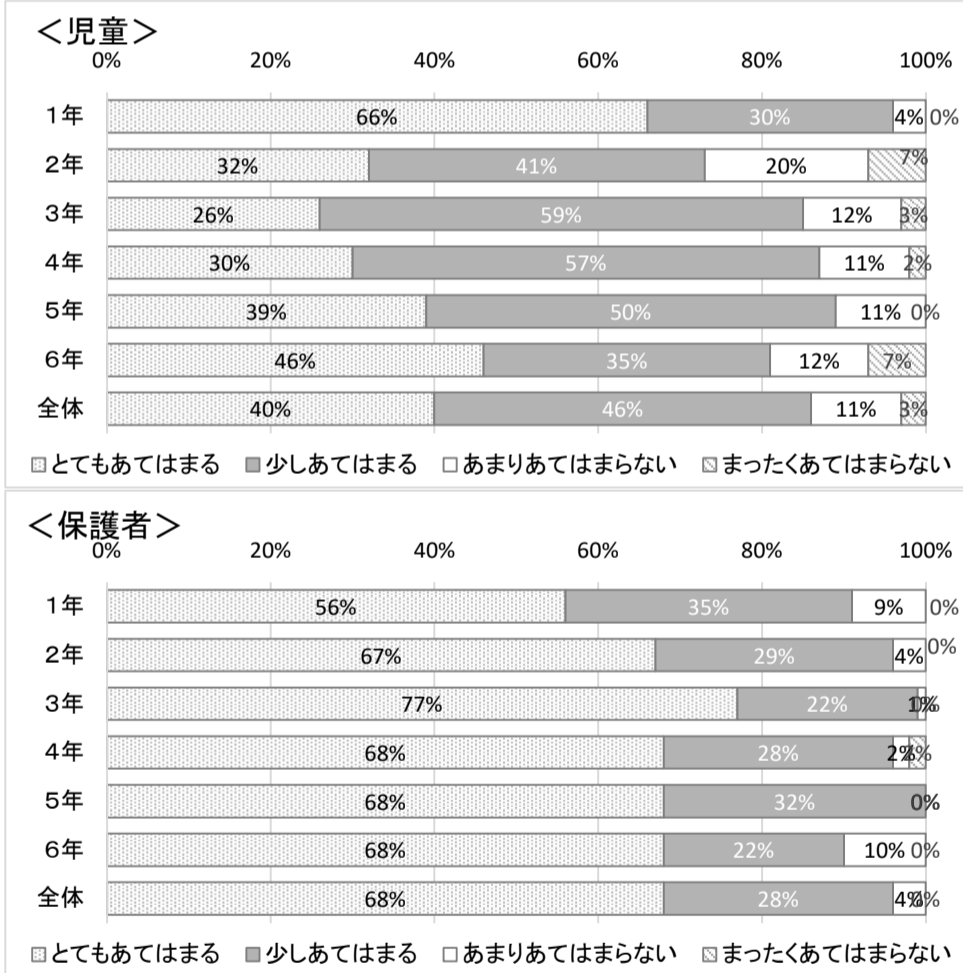
・「学習のたしかめ」で条件に沿った作文を書く問題が出題されなかったため、「水曜すいすい作文タイム」を利用して、評価する必要がある。

<2学期に向けて>

・毎月第2・第4水曜日の朝活動を「水曜すいすい作文タイム」の時間とし、焦点を絞ってテーマや課題を設定し取り組むことで、書く力の定着を図る。また、第2・第4木曜日に下学年、金曜日に上学年の作文紹介を実施し、多様な書き方に触れる機会を設ける。

・学期末に、過去の「学習のたしかめ」を参考に、条件に沿った作文を書く問題を出題し、数値評価をとる。

2 友達の話に賛成(さんせい)・つけたしと、つなげるように発言(はつ



○成果

・時間いっぱい黙働清掃に取り組んだと答えた子供が95%以上いた。

●課題

・班によって、清掃終了時刻が違っていた。

☆改善点

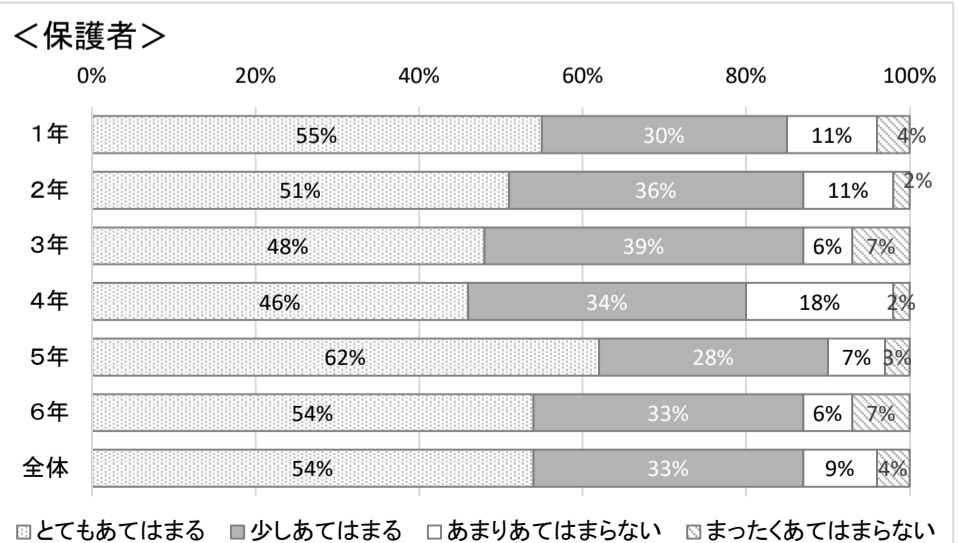
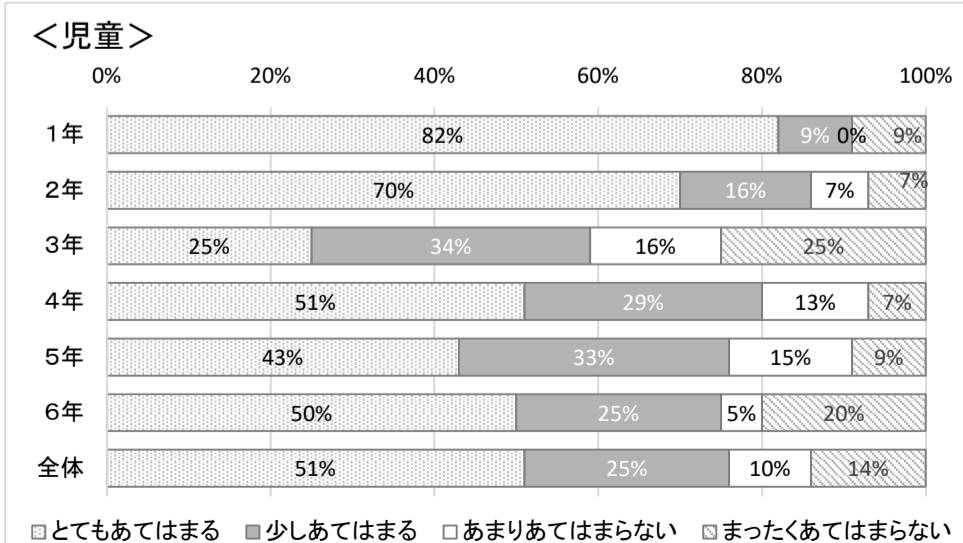
・清掃終了時刻を再確認する。
・身の回りをきれいにしようとする意識を高める。

<2学期に向けて>

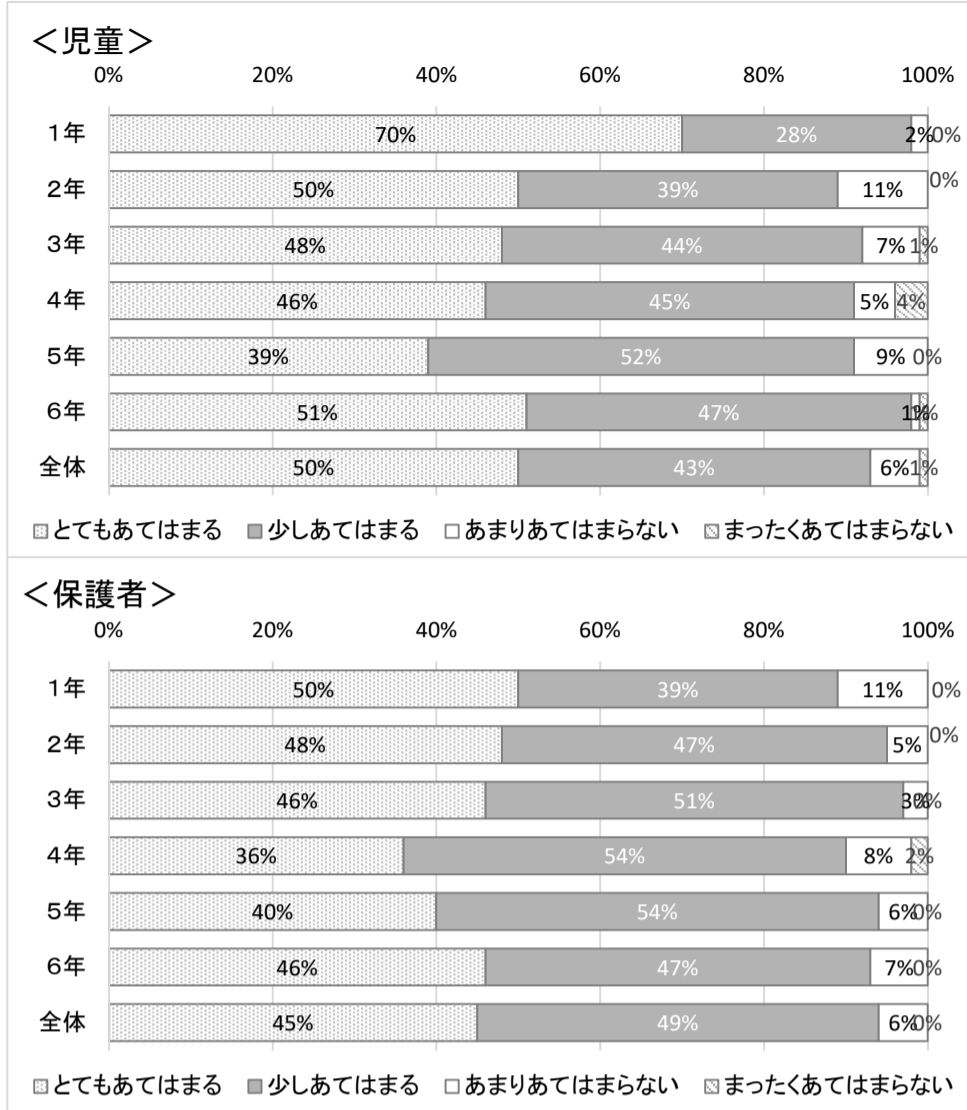
・委員会を中心に「そうじ名人」を紹介する活動を継続する。
・ミニ清掃週間を設け、振り返りカードを付けることで、身の回りの清掃・整とんを意識付ける。

— AP2 —

3 友だちの心を傷(きず)つけることを言ったり、からかったりしない。



4 ろうかを走らない、あいさつをするなど、学校のきまりを守っている



○成果

・手洗いの習慣化に向けて指導を行ったことで、子供たちの中で手洗いに対する意識が向上した。

●課題

・アンケートの結果より、「まあまあできた」と回答した子供が22%いた。その要因として、「きちんと手洗いをする」ことの「きちんと」にあたる正しい手洗いの仕方の判断基準が曖昧であったことが考えられる。

☆改善点

・正しい手洗いが「できた」と実感できるように正しい手洗いの仕方をより具体的に示し、指導を行っていく。

<2学期に向けて>

・手洗いの習慣化に向け、「手洗いぱっちりカード」を活用した指導を継続して行っていく。

・「きちんと手洗いをする」ことの「きちんと」にあたる正しい手洗いの基準を明確に示し、指導を行う。

<正しい手洗いの基準>

- ①せっけんを使う。
- ②30秒間以上手洗いをする。
- ③清潔なハンカチで手を拭く。

学年別保護者回答率

初めてWebアンケートにて調査を実施いたしました。システムの不手際があり、ご迷惑をおかけしましたことにつきまして、お詫び申し上げます。
 学校全体での回答率は80%でした。回答いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。
 これからも、このようなWebアンケートを活用していくこととしています。保護者の皆様のご意見・ご回答をいただき、教育活動に生かしていきたいと思っております。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。

